

【高校生部門】最優秀賞

いつか生まれてくるあなたへ

群馬県立高崎工業高等学校 3年 白田 茉悠

いつか生まれてくるあなたへ、まだ高校生のお母さんからお話したいことがあります。今、私には本当に大切な友達が二人います。高校は違うけれど、小学校の時からずっと仲良くしている友達です。今は以前のように毎日には会えないけれど、いつも心のどこかに二人はいます。悪い所をきちんと注意してくれて、自分が辛い時、全力で支えてくれる、嬉しいことはみんな嬉し合える、そんな素敵な友達です。あなたも、そんな素敵な友達を見つけてください。

あなたが今の私くらいの歳になった時、どうしてもお母さんやお父さんに言いづらいことが増えてくると思うのです。そんな時は、あなたにとっての素敵な友達に話してみてください。もちろん、私達を頼ってほしいという思いもあるけれど、親と話しづらくなってしまいう時期があることは仕方がないことだと思います。辛いことは絶対に溜め込んでダメです。話せばきつと、その友達が助けてくれるはずです。

さて、今の私はラグビー部のマネージャーをしています。重い荷物を持っていると何も言わなくても進んで持ってくれたり、失敗をしてみたって責めずにみんな支えてくれたり……そんな仲間に本当に感謝してもしきれません。あなたもラグビー部の仲間のように、誰かを助けてあげられるような人になってください。そんな人になることができれば、周りの人もきっとあなたを助けてくれます。悲しい時や困っている時に誰かが助けてくれたら、本当に救われるものです。

最後に、色々なことにチャレンジをして生きてください。色々なことを両親にさせてもらったからこそ、今の自分があると強く感じています。あなたにも、色々なことにチャレンジをして後悔しない人生を送ってほしいと心から願っています。自分のいのちを大切に、精一杯生きてください。

【講評】手紙からあふれる、まっすぐで素直な気持ちに、まず心を引かれました。友達や家庭の優しさを信じ、その思いやりに気がつき、感謝する言葉の温かさに、あなたの笑顔が重なって見えます。明るい未来の家族の姿も。

(中村委員)